



ここは皆で声を揃えて元気に歌ってね！

三月のうた 谷川 俊太郎

わたしは花を捨てて行く
ものみな芽吹く三月に
わたしは道を捨てて行く
子等のかけだす三月に
わたしは愛だけを抱いて行く
よろこびとおそれとおまえ
おまえの笑う三月に



先日、こんな詩と出会った。



ソリスト
バリトン 福嶋 勲

新しいステージへの
飛躍を祈りつつ

様々な別れの哀しさと、
あたらしいものに向うエネ
ルギーとが交錯する三月と
いう季節。
遺していくものへの眼差
しと、その愛。
しかし、こだわるることな
く旅立つ潔さ。
そして、わたしたちの中
に永遠にとどまり続けるで
あろう「おまえ」。
ひとつの偉業を精一杯の
想いで成し遂げられた合唱
団の皆さんに、心から敬意
を表しこの詩を送ります。
あたらしいステージへの
飛躍を祈りつつ...

我が子との 初の共演に感動



私の可愛い子ども達

ソリスト
ソプラノ 角地 直子

二月十八日、千鳥体育館
が今年も演奏会用に準備を
整え、開演に向う期待や緊
張感を後押ししてくれます。
この場所で「第九」が歌え
るのは今年が最後。

シート敷きから椅子並べ、
団員の皆さんが、まさに作
り上げる演奏会でしたね。
ご苦労様でした。
今回あまり練習に参加す
る事が出来ませんでした、が
年々パワーが増しているよ
うに思います。
練習では正直不安な所も、
本番ではバッチリに演奏さ
れている所は、さすが！で
した。
実はこの演奏会、初めて
我が子と共演させて頂くこ
とになり、私にとって特別
な演奏会となりました。
お腹にいる時から聴かせ
てきた「第九」とは言え、
歌うまでには中々いかなか
ったのですが、西本先生の
お陰で夢が叶いました。
子ども達は、普段客席で
聴いている曲を、自分達も
歌える事に感動し、本番が
終わるや否や、来年はもつ
と頑張りたいと意気込んで
おりました。
貴重な体験をさせて頂き、
ありがとうございます。
私が歌を始めるきっかけ
となった「サウンド・オヴ
・ミュージック」を、子ど
も達と一緒に歌えた事も、
最高の幸せでした。
今でも、家の中ではあの
時のメドレーが歌われてい
ます。
鼻歌にするには盛り上が
り過ぎるので、少しうるさ
いのが難点ですが、私もよ
く歌っているのです、おあい
こかと思っております。

団員の皆さんも、ご家族や
ご友人の方々に感動を分けて
差し上げて下さいね。少し
くらい押し売りでも大丈夫！
皆さんの感動や喜びは必ず
伝わります。
ますますこの輪が絆となり、
広がりますように。

“驚きの文化力”
エウフォニカより大正区の
皆さんに感謝！



エウフォニカ管弦楽団
事務局長 赤松 めぐみ

大正区民のみなさん！
第六回第九公演のご盛会
おめでとうございます。
毎回成功裡に導かれる、
西本ひろみママのマジック
はスゴイ！
まさに“なにわのミュー
ズ”（音楽の女神）です。
今度の宿題はどんな
曲？・・・と、いつもドキ
ドキ・ワクワクしながら、
みなさんと一緒にチャレ
ンジさせて頂ける喜びは何
ものにも代え難く、オーケ
ストラ冥利につきます。
オーケストラの大敵であ
る寒さや音響、お客様の方
全確保などが心配された会
場のこと、曲目に「レクイ

エム？！中学生と「アイダ」？！
毎回心配事満載の高いハード
ルを、みなさんの努力と和の力
で乗り越えてこられた「大正区
民パワー」は世界に誇るべき力
です。
「第九」のCDをひも解くと
ころからスタートされ、研究を
重ね猛暑や厳しい指導（一度拝
見したかったです）にも負けず
に乗り越えてこられた大正フロ
イデの皆さんは、プロにも手強
い古典名曲に取り組み、着実に
区民の文化力をUPしてこられ
ました。
これは私共にとっても敬服す
べきことであり、心豊かに生き
て行くことの原点ではないかと
思います。
私は今回、長時間に及ぶ「第
九」全楽章演奏にもかかわらず、
後部席の方も端の席の方もどな
たもよそ見をすることなく、熱
心に聴き入っておられ熱い視線
を送って下さったことに、合唱
団のみならず、支えておられる
区民の皆さんに高い文化が着実
に浸透している事を確信しまし
た。
どうかこれからも、合唱を通
じて文化を愛し育む心を世界に
伝えて下さい。
今回のマジックは？
第七回「第九」公演も楽しみで
す。
みなさん、熱いオーラを
ありがとうございます。